

目標を設定し、計画をたて、行動することの大切さ

ドアン ティー フィンさん (ベトナム)



日本語学校

横浜国立大
学大学院

鉄工会社
就職

2009年に来日し、日本語学校に通っていました。2011年に横浜国立大学理工学部に入
学し、機械工学材料系学科で鉄鋼材料について勉強しました。学部卒業後、同大学の
大学院に進学しました。2016年6月に就職活動を無事に終え、日本で2番目に大きい鉄
鋼会社から内定をいただきました。2017年4月から働きます。

留學生活において明確な目標をもつことがどれだけ重要かについてお話ししたいです。
そして、受験勉強、就職活動や生活上の問題を解決する方法など、私自身の体験から皆
さんにアドバイスできたら大変嬉しく思っております。

これまで様々な外国人留學生支援活動に参加して、ある問題に気付いていました。ビジ
ョンを持たず何年間も長い留學生活を送っている留學生が多くいます。ここにいる皆
さんは、自分の将来を考えているからこそここに来られたと思います。明確な目的を持つ
ことが非常に重要です。今日から少なくとも今後自分がやりたいことをはっきりさせま
しょう。ただそれだけで終わってしまうと何にもならないです。設定した目標に向けて、
計画を立て、行動に移しましょう。

ここでは、私の体験を話します。日本語学校に通った2年間でどんな目標をもって、ど
う行動したかについてです。

来日したばかりの頃から、将来は日系企業に就職して、長く日本で生活したいと考えて
いました。そのためには、他の就活生に負けない学力と能力を持たなければなりません。
当時、私は大学に入ることを目標として、計画を立てました。日本語の勉強、受験勉強
やアルバイトなど、すべて1週間の単位でスケジュールを組んでいました。学費、家賃、
生活費、大学入学のための貯金など、背負わなければならないものが沢山ありました。
しかし、今自分にとって一番重要なことが何かと考え、必要以上にはアルバイトをしな
いことに決めました。勉強とアルバイトだけでなく、日本文化への理解を深めるために
観光したり交流会に行ったりしていました。かなり忙しい2年間でしたが、頑張った甲
斐があり思い通りの結果が得られました。修士課程を修了し、入りたい日系企業から内
定も頂きました。ここまで無事に来られたのは、最初に目標を設定したことが一番大き
かったと思っています。

最後に、自分自身の留學生活の経験から皆さんに伝えたいことがいくつかあります。

- ・日本語をマスターすること。
- ・明確な目標を設定して、計画を立て、そして、行動すること。
- ・日本で就職したい方は、日本の就職活動の時期、企業研究など事前準備を早い段階から始めること。以上です